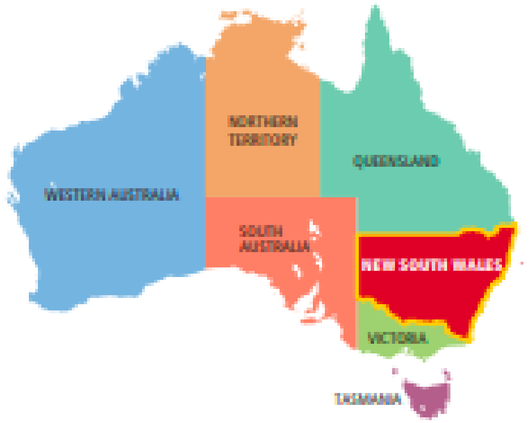
福岡県とオーストラリア・ニューサウスウェールズ州（ＮＳＷ州）との交流

経済・産業の中心地
オーストラリア・NSW州

豪州・ニューサウスウェールズ州は豪州で最大の人口と経済規模を誇る州です。経済、文化の中心地である州都シドニーの他、本県と縁のあるカウラ、世界最大級の石炭輸出港を擁するニューカッスルも同州に位置しています。
また、同州はオーストラリアで最も訪問者数が多い州です。有名なワイン産地ハンター・バレー、大自然の景観を楽しめるブルー・マウンテンズ、セレブレティが多く訪れるサーフィンの街バイロン・ベイ、そしてアウトバックの魅力的な街ブロークン・ヒルが点在します。



概要
人口　815万人(2022年6月30日現在)
※福岡県：510万人（2024年6月1日現在)
面積　800,640平方km　※福岡県：4,987平方km
気候　平均気温21.5℃　年間降水量1,222.7mm
※福岡県：平均気温18.5℃
年間降水量1,768mm(2023年)

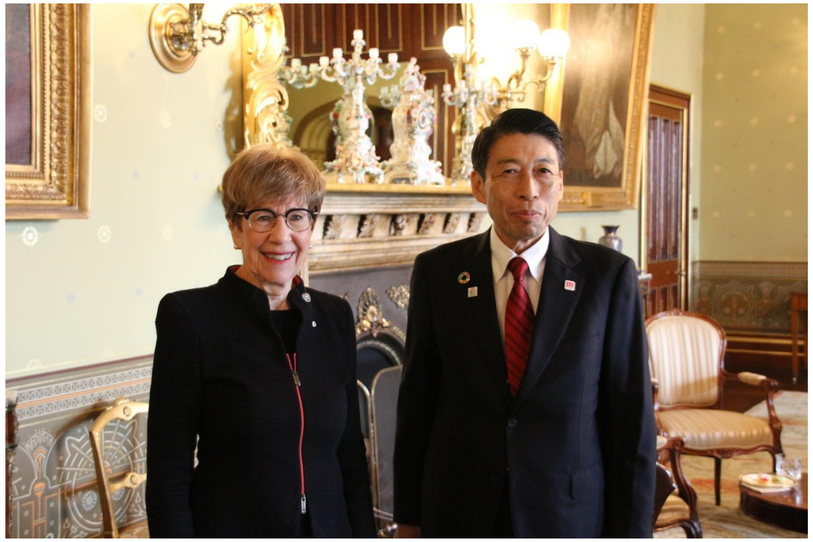
主要産業又は主要産物
工業：鉄鋼、機械、電子製品、衣料、繊維、化学
鉱業：石炭、銀、亜鉛
農業：牛肉、羊毛、乳製品、小麦、砂糖、果物

福岡県とオーストラリアとの交流の歴史（主な交流）

1800年代末	日本がオーストラリア産の石炭や羊毛の輸入を開始
1901年	豪州連邦成立 （六つの英国植民地の請願により連邦が憲法を制定。連邦制を採用）（現在6州2特別地域）
1941年	太平洋戦争開戦
1944年	カウラ捕虜収容所日本兵集団脱走事件(8月5日)
1945年	太平洋戦争終戦
1957年	日豪通商協定締結
1976年	日豪友好協力基本条約（奈良条約）締結
1988年	永倉三郎氏とカウラ市による「桜並木プロジェクト」開始
1990年	非営利団体として福岡日豪協会が設立
1991年	永倉三郎基金設立
1992年	在福岡オーストラリア領事館開設 （2000年に総領事館に昇格）
1993年	サブロー・ナガクラパーク開園
2015年	シドニー福岡県人会発足
2018年	福岡県議会が豪州訪問（8月）
2019年	小川洋福岡県知事が県議会とともに豪州訪問（8月）
	在福岡オーストラリア総領事館業務の在大阪オーストラリア総領事館への移管（12月）
2022年	福岡県・福岡県ラグビーフットボール協会・豪州NSW州ラグビー協会の3者によるMOU（基本合意書）締結（10月）
2023年	服部誠太郎福岡県知事が県議会とともにNSW州訪問（8月）
	福岡県・福岡県高等学校野球連盟・豪州NSW州野球連盟の3者によるMOU（基本合意書）締結（8月）
	福岡県とNSW州との間で「水素分野における協力促進に関する覚書」を締結（11月）
2024年	カウラ市長一行が福岡県訪問（4月）
	服部誠太郎福岡県知事が県議会とともにNSW州訪問（8月）

令和５(2023)年８月　福岡県訪問団による交流

2023年8月4日から10日に、服部知事、香原県議会議長をはじめとする訪問団がＮＳＷ州を訪問しました。滞在中、ＮＳＷ州総督をはじめ、州関係者を表敬訪問したほか、シドニー福岡県人会との意見交換会を行いました。また、州政府と水素分野に関する協議を行い、ＮＳＷ州の水素拠点となるニューカッスル港及び近隣に位置するニューカッスル大学エネルギー資源研究所を訪問しました。そのほか、福岡・九州の観光や福岡県のサイクルツーリズムの魅力をPRする「観光セミナー」の開催、スポーツ分野では、ラグビーや野球などで交流が進展しました。



ビーズリーNSW州総督と服部知事

NSW州議会訪問
（中央はベン・フランクリンNSW州議会上院議長）

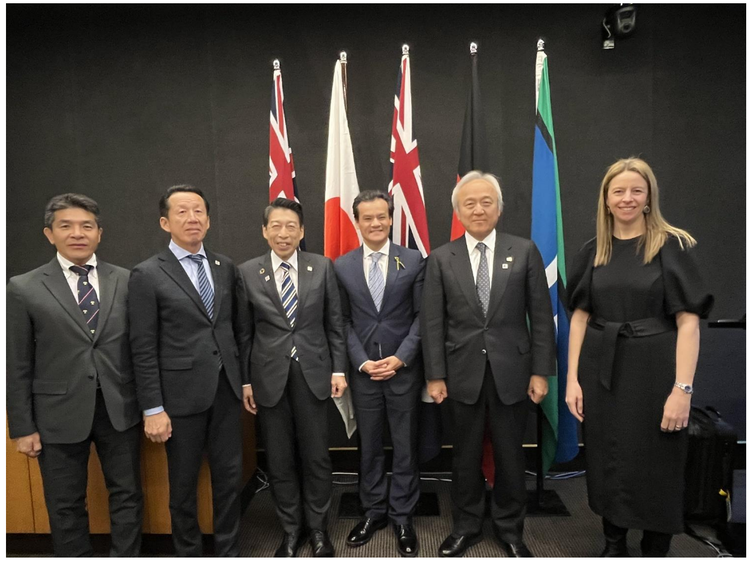
チャンシヴォン産業・貿易大臣と福岡県・NSW州
間の交流促進ついて協議

令和６(2024)年８月　福岡県訪問団による交流

2024年8月3日から8日に、服部知事、香原県議会議長をはじめとする訪問団がＮＳＷ州を訪問しました。2024年は、本県と縁の深い同州カウラで発生した日本人捕虜集団脱走から80周年の節目にあたり、カウラ市長からの招へいを受けて、現地で開催された記念慰霊式典に参加しました。
あわせて、州政府関係者と協議を行い、2023年に覚書を締結した水素をはじめ、観光セミナーの開催や教育等の分野での連携交流の取組を行いました。

80周年記念式典カウラ市長主催夕食会にて
（右から４番目がフェイガンカウラ市長）

観光セミナーでの意見交換の様子



チャンシヴォン産業・貿易大臣との協議
（右から３番目がチャンシヴォン大臣）

スポーツ分野の交流の取組

2022年10月に、福岡県、福岡県ラグビーフットボール協会、ＮＳＷ州ラグビーフットボール協会の３者で相互交流に関する覚書を締結。毎年実施しているアジア・オセアニアラグビー交流フェスタ2022にＮＳＷ州のU-14代表選手が参加するなど、海外チームとの試合経験や国を越えた交流により、世界に視線を向ける子どもたちの育成を目指しています。
また、2023年8月に、福岡県、福岡県高等学校野球連盟、ＮＳＷ州野球協会の３者で、相互交流に関する覚書を締結し、同年10月にＮＳＷ州女子野球代表選手が訪問する等、互いに競技力の向上やスポーツに取り組む考え方への理解等、多様な価値観の養成を図っています。
さらに、2023年12月には、福岡県と福岡県水泳連盟、ＮＳＷ州水泳連盟との間でも覚書を締結し、今後相互交流を行う予定です。

「アジア・オセアニアラグビー交流フェスタ2022」にＮＳＷ州代表選手出場

九州ハニーズとＮＳＷ州女子野球代表選手が合同チームを編成し、筑紫地区選抜チームとエキシビジョンマッチを実施

水素分野における協力促進

ニューカッスル港が石炭からグリーン水素の一大供給拠点として転換を進めていることに対し、福岡県が北九州市の響灘臨海エリアを中心に水素大規模拠点の構築を目指していることから、福岡県とNSW州の間で水素分野をはじめとした連携の可能性について協議を行ってきました。
2023年11月に、福岡県と州政府との間で水素分野に関する覚書を締結したほか、2024年8月の訪問団一行による交流の際には、ニューカッスル港にある企業を訪問するなど、今後あらゆる機会を捉えて、両地域間の企業のビジネスマッチング、あるいは大学間の交流等を積極的に進めていく予定です。

州政府との協議（2023年8月）

水素分野に関する覚書の締結お披露目式（2024年1月）

ニューカッスル企業訪問（2024年8月）

福岡県とカウラ

日本兵捕虜脱走事件

カウラはＮＳＷ州にある人口約1万人の町です。シドニーの西約300kmに位置しています。
1941年、オーストラリアは日本に対して宣戦布告を行い、第二次世界大戦に突入しました。カウラ捕虜収容所は1941年に造られ、当時約4,000人の捕虜（うち日本人は約1,100人）が収容されていました。1944年8月5日午前2時頃、捕虜となったことを不名誉と考えていた日本人捕虜による脱走事件が発生し、231人の日本人捕虜と、収容所の警備にあたっていた4人のオーストラリア衛兵が亡くなりました。
戦後まもなく、カウラ退役軍人会のメンバーが中心となり、日本人捕虜脱走事件の犠牲者の墓地を維持管理するようになりました。その後、カウラ市、オーストラリア連邦政府等の協力のもと、カウラ市に日本人戦没者墓地が整備されました。

永倉三郎氏とカウラの交流

1980年代、当時九州電力の社長であった、永倉三郎氏は、経済ミッションでカウラ市を訪れた際に、敵対国であったにもかかわらず、日本人戦没者墓地を大切に維持管理しているカウラ市民に対して深く感銘を受けました。
そこで、私財を投じて永倉三郎基金を設立し、1993年に、現地にサブロー・ナガクラ・パークを開園しました。現在も基金はご子息らにより運営され、カウラ市の公園等の維持管理に貢献しています。

1993年　サブロー・ナガクラ・
パーク開園当時の様子

福岡県とカウラ

福岡県とカウラ市との交流

永倉三郎氏とのつながりを背景に、福岡県では、2019年8月に同市で開催された75周年戦没者慰霊記念式典に福岡日豪協会と共に参列したほか、 2023年8月には香原福岡県議会議長をはじめとした訪問団がカウラを訪れました。2024年4月には、カウラ市のルース・フェイガン市長をはじめとする訪問団が知事及び県議会を訪問され、同年8月の日本人捕虜集団脱走80周年記念慰霊式典への招待を受けました。これを受けて、服部知事、香原福岡県議会議長ほか訪問団一行が記念慰霊式典に参加し、日本人墓地等にて献花を行うなど、カウラ市との交流を深めました。

服部知事による日本人墓地での献花（2024年8月）

サブローナガクラパーク訪問時の様子（2023年8月）

カウラ市長の知事表敬（2024年4月）
（左から３番目がフェイガンカウラ市長）

カウラ日本庭園にて（2024年8月）